2019年度活動報告

2020年6月25日

特定非営利活動法人　イカオ･アコ

目　次

1　2019年度活動報告
2　2019年度会計報告
3　2019年度会計監査報告

１．2019 年度活動報告

2019 年のイカオ・アコの活動実績として、

(1) 緑の募金、イオン環境財団などから委託金、助成金をいただき、170 万本の植林を達成した。単に植林するだけでなく、他のプロジェクトと組み合わせ、流域において地域社会の変革になっていること、
(2) 地球環境基金、イチゴプロジェクトにより、新たな価値創造に取り組み、臨海部ではエコツーリズムが生計向上に貢献し、山間部では有機農業、特産品の栽培が住民の能力開発につながっていること、
(3) JICA 草の根技術協力事業により、ボホール島ウバイ郡でゴミの減量化に取り組み、コンポスト製造により、循環型社会形成の一翼を担うことができたこと、
(4) 日本からスタディツアーの参加者を獲得し、日本の大企業の研修を実験的に現地で実施することができた。現地では数百人規模の参加者が得られる、マングローブ祭りを主催し、市民の参加が得られていること、
(5) ダウンタウンにオーガニックカフェ MIDORI を開設し、有機農産物を加工して提供する。日本人ボランティアのためにベッドと食事を用意した研修センター(年間 40 人を受け入れ)を運用していること、
(6) 従来から組織運営上の課題として、中期計画が作成されていないため、中期的な目標が曖昧なままマネジメントが行われてきた。また、マネジメント上の PDCA サイクルがうまく機能していない。2019 年度には Panasonic の支援を受けて SDGs の要素を取り込んだ中期計画を立案したこと、

を挙げることができる。

1.1 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

助成事業として、以下の 8 本を実施した。

① 「環境教育による３R 推進と循環型社会の形成プロジェクト」、JICA 草の根技術協力事業
② 「フィリピンの水源地域におけるサトウキビ畑の有機農業への転換」、地球環境基金
③ 「先住民族の命の森復活プロジェクト（第 3 年次)」、イオン環境財団
④ 「フィリピン貧困農山村における環境調和型観光農業の育成事業」、日本国際協力財団
⑤ 「雨水のリユースシステム構築による、安全な飲料水と適切な衛生環境を提供する事業」、三井物産環境基金
⑥ 「小学校に安全な水を提供するための雨水再利用システムの構築プロジェクト」、積水ハウスマッチングプログラム
⑦ 「水源の森を守り、学校・地域に水を届けよう」、TOTO 水環境基金
⑧ 「上・下流部住民の交流による流域の森林再生（第 2 年次)」、緑の募金

⑨ 「活動の活性化を目指すコレクティブな関係作りと市民参加の促進」、パナソニック株式会社
また、2 件の大口の寄付金を得てマングローブ等の植林を実施し、54,740 本の実績を上げた。
①「ニチバン巻心 ECO プロジェクト」、ニチバン株式会社
②「あすをともす森づくり」、アストモスエネルギー株式会社

(2) その他の事業に係る事業
ボホールの草の根技術協力事業の支援を得て、慶應義塾大学が開発し、現地の女性たちが作成したリサイクル商品を中心に国内販売を実施し、売り上げは 165,000 円である。

1.2 会議の開催に関する事項

(1) 総会
① 開催日時及び場所
2019 年 5 月 12 日 10:00～12:00　YWCA ビル
② 議題
・2018 年度活動報告
・2018 年度会計報告
・会計監査報告
・2019 年度事業計画・
(2) 理事会
① 第 1 回理事会
・開催日時及び場所　2019 年 5 月 9 日 13:00～16:00 当法人事務所
・議題
2019 年総会提出議案について
② 第 2 回理事会
・開催日時及び場所　2019 年 10 月 4 日 13:00～16:00 当法人事務所
・議題
2019 年度事業進捗について

2019年度実績と2020年度計画（中期ビジョン2022の達成のために）

事業名	植林事業	有機農業事業	安全な水供給事業	ソーシャルビジネス事業	国内活動	組織運営
2019年度実績	・マングローブ・上流部併せて54,740本、参加者は2,313人、23年間累計で170万本の植樹 ・バラリン・ボカナにエコパーク運営継続 ・バラリンの住民団体の自立に向けて支援 ・企業がイカオ・アコの支援を受けてフィリピンにて研修を実施	・パホで堆肥の製造・販売 ・有機肥料・ブロッコリー栽培専門家の派遣 ・イチゴの栽培のための提案書作成（N連） ・ボホールに大規模液肥施設の建設終了（JICA）	・ネグロス島で1か所（学校と地域）、ボホール島で2か所（学校と地域）で安全な水を届けることができた ・それぞれ水の収集方法が異なる	・カフェ経営経験7年間 ・フェアトレード13年間 ・ゲストハウス「イロンゴ」の運営1年目 ・国際協力研修センター運営8年間 ・自前の研修センターの建物の建設のため、土地を取得	・桜丘高校で特別授業 ・各種研修に参加しネットワーク構築 ・中期ビジョンの作成	・国内の組織基盤整備に取り組む ・会員管理ソフトを導入 ・会費徴収システムの構築 ・人事制度・就業規則の整備
中期ビジョン2022	**植林参加の目的を多様化する**	**「有機農業で稼ぐ！」モデルを作る**	**安全な水を地域・学校に届ける**	**ソーシャルビジネスを独立採算制にする**	**・SDGsへの取り組みが多くの人々に知られる** **・参加型イベントが定期的に行われる**	**・働きやすい職場環境が整い、リスクマネージメントができる** **・効果的な会員制度が完成**
重点活動（2020～23年）	・植林事業の見える化に取り組む。（植林本数・映像・画像・ツールなど） ・エコパークを活用したエコツーリズムの確立 ・植林ビジネスの展開（記念植樹・マングローブウェディング・オーナー制度） ・パガパットフェスティバルなどの植林イベントを開催	・完熟堆肥の生産・販売 ・専門家現地派遣 ・完熟堆肥を使った栽培技術の研修の実施 ・現地スタッフの本邦研修 ・宣伝・研修/生産の機能を持つデモファームを運営	・モデル地区に利水設備を設置しモニタリングを実施 ・省エネルギー・省資源の利水技術をマスター ・システム上不備な点を改善し、次プロジェクトに活用	・ビジネスの専門家の派遣 ・ビジネスパートナー（現地スタッフ）の雇用 ・カフェの移転（研修センターと相乗効果）	・定期的に会員同士が交流できる場の設置 ・国内での活動拠点を持ち、そこで参加型イベントを企画・運営 ・広報に関して①SNSの強化②HPの改訂③ファクトブックの作成 ・PRに使えるおしゃれなフェアトレードグッズを開発し、国内で販売	・会員制度の構築（既存の個人情報の利用、効果的な会員特典、中高生向けの会員制度、入金確認がスムーズにできる管理システムの導入など） ・人事制度・就労規則・研修制度などの整備 ・国内インターン・ボランティア・プロボノの受け入れ ・総会・理事会の定期開催
2020年度計画	・コロナ禍より、植林参加者（日本人、フィリピン人）を見込めない状況 ・アストモスの植林事業が休止 ・新たにリコーの寄付を得ることができる ・8月に毎年行っているPagadpat祭りを中止 ・スタディツアーなどの中止（オンライン・スタディツアーの企画）	・完熟堆肥を月に500キロ生産・販売 ・1,000平米で月20,000ペソの売り上げるモデルファームの計画 ・イチゴの生産性を日本水準の半分達成（1ｔ/10a）	・ボホール島の2か所で安全な水供給プロジェクトを実施する ・安全な水供給プロジェクトのマニュアルをまとめる	・コロナ禍により、フィリピン側のソーシャルビジネスを休止 ・AdwordsによるSEO対策	・国内NPO２つと連携強化 ・会員同士の顔を合わせるイベントを計画・実施	・引き続き組織基盤の整備 ・総会・理事会を定期的に開催 ・有料サポータ数の増加策検討

2. 2019年度会計報告

法人名： 特定非営利活動法人イカオ・アコ

活動計算書

平成 31年4月1日　～　令和 2年3月31日　まで

（単位：円）

科　目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合　計
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取入会金			0
正会員受取会費	100,000		100,000
賛助会員受取会費	100,000		100,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	4,064,734		4,064,734
3. 受取助成金等			
受取助成金	27,539,233		27,539,233
4. 事業収益			
フェアトレード事業収益	0	165,000	165,000
非営利活動事業	5,857,374		5,857,374
5. その他収益			
受取利息	102		102
雑収入	1,348		1,348
経常収益計	37,662,791	165,000	37,827,791
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	8,428,465	0	8,428,465
法定福利費	17,031		17,031
人件費計	8,445,496	0	8,445,496
(2)その他経費			
諸謝金	52,500		52,500
印刷製本費	215,430		215,430
会議費	114,163		114,163
旅費交通費	4,015,916		4,015,916
通信運搬費	39,452	0	39,452
消耗品費	2,187,752		2,187,752
水道光熱費	0		0
賃借料	85,846		85,846
減価償却費	0		0
租税公課	26,801	0	26,801
雑費	10,914,887		10,914,887
その他経費計	17,652,747	0	17,652,747
事業費計	26,098,243	0	26,098,243
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		0
給料手当	2,899,181		2,899,181
法定福利費	341,794		341,794
人件費計	3,240,975	0	3,240,975
(2)その他経費			
諸謝金	300,581		300,581
印刷製本費	14,465		14,465
会議費	33,959		33,959
旅費交通費	436,956		436,956
通信運搬費	283,589		283,589
消耗品費	237,772		237,772
水道光熱費	237,484		237,484
賃借料	459,200		459,200
減価償却費	0		0
保険料	0		0
租税公課	92,575		92,575
雑費	981,374	165,000	1,146,374
その他経費計	3,077,955	165,000	3,242,955
管理費計	6,318,930	165,000	6,483,930
経常費用計	32,417,173	165,000	32,582,173
当期経常増減額	5,245,618	0	5,245,618
Ⅲ 経常外収益			
1. 過年度損益修正益			0
経常外収益計	0	0	0
Ⅳ 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	5,245,618	0	5,245,618
前期繰越正味財産額			10,124,033
次期繰越正味財産額			15,369,651

貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人イカオ・アコ

単位：円

科目・摘要		金額		
Ⅰ資産の部				
１流動資産				
現金預金		15,375,535		
未収金		0		
前払費用		0		
流動資産合計			15,375,535	
２固定資産				
車両運搬具	0	0		
減価償却累計額	0			
什器備品	0	0		
減価償却累計額	0			
電話加入権		0		
固定資産合計			**0**	
資産合計				**15,375,535**
Ⅱ負債の部				
１流動負債				
未払金		5,884		
短期借入金		0		
流動負債合計			5,884	
２固定負債				
長期借入金		0		
固定負債合計			0	
負債合計				**5,884**
Ⅲ正味財産の部				
前期繰越正味財産額			10,124,033	
当期正味財産増加額			5,245,618	
正味財産合計				**15,369,651**
負債及び正味財産合計				**15,375,535**

財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人イカオ・アコ

単位:円

科目・摘要		金額		
I資産の部				
1流動資産				
現金預金				
現金	現金手許有高	28,456		
普通預金	三菱東京UFJ銀行武豊支店	7,540,173		
普通預金	ゆうちょ銀行１０８支店	1,861,918		
普通預金	新生銀行名古屋支店	5,944,988		
未収金		0		
		0		
前払費用				
		0		
流動資産合計			**15,375,535**	
2固定資産				
車両運搬具		0		
什器備品				
		0		
固定資産合計			**0**	
資産合計				**15,375,535**
Ⅱ負債の部				
1流動負債				
未払金		5,884		
		0		
		0		
		0		
		0		
		0		
前受金		0		
預り金		0		
流動負債合計			**5,884**	
2固定負債				
長期借入金		0		
固定負債合計			**0**	
負債合計				**5,884**
正味財産				**15,369,651**

3. 2019 年度会計監査報告

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの 2019 年度会計年度における会計及び業務の監査に際し、関係書類を調査した結果、すべてが適正に処理されており、遺漏、過誤のないことを確認しました。

2020 年 6 月 11 日

監　事　　石川　晃子